

MIGA コラム「新・世界診断」

イスラエル・ハマス紛争からの教訓

長谷川 榮一

武蔵野大学国際総合研究所所長



1952 年生まれ。東京大学法学部卒。元中小企業庁長官。第一次安倍政権で内閣広報官、第二次安倍政権で内閣総理大臣補佐官兼内閣広報官。現在、武蔵野大学に勤務。他に東大公共政策大学院客員教授。ブラックストーン・グループ・ジャパン、ボストンコンサルティンググループ勤務。飯田グループホールディングス（株）社外取締役。著書に『石油をめぐる国々の角逐』、『首相官邸の 2800 日』。

2023 年も間もなく終わる。昨年に続いて、今年も何人かの友人を失った。私の友人だから齢を重ねた方々ではあるが、私の人生に刺激と豊かさを与えてくれた方ばかりなので、自分の一部を引きちぎられる想いになる。

一方で、健康で 1 年を過ごすと、新たな知己を得ることもできた。刺激と豊かさを私に恵んでくれる。本研究所の研究員、スタッフの皆さん、皆さんが労をいとわずに開催してくれる研究会。刺激を頂き、「また一段と賢くなれた」と痛感する。

大学での授業で出会う若者たちも増えた。他の兼職先で、目的意識を共有しながら、ともに働く仲間も増えた。殆どが私の子どもたちの世代で、私とまったく異なる発想を聞かされる。「若者たちだから仕方がない」というのではなく、共通点、接点を探しながら、皆が効用を共有する努力を重ねたい。これこそ民主主義の演習だ。

しかし、この国の将来を心配にすることも後を絶たない。国内でのことは別に譲り、ここでは、海外での事件から、教訓とすべきことを述べたい。それは抑止力の低下だ。

イスラエルとハマス紛争が日本に与える教訓としては、何が重要か？ 現地にいる邦人の不安、無垢の非戦闘民の命、拘束が長引く人質の身の上、中東の不安定化、スエズ運河の不通、、、数々あるだろう。いったん事が勃発すれば、和解は遠のき被害が増える一方だ。「先に攻撃をはじめたハマスに責任がある」、「報復戦を止めずに犠牲者を増やすイスラエルが悪い」などの論議が外交やメディアでかまびすしい。「どの意見に分があるか」ではなく、発生を防ぐことができているならば、痛ましい被害は生じていないことに想いを致して頂きたい。

双方に譲れない立場がある事態は日本の周りにもある。そこから破裂し得る無謀なエネルギーを封じ込め、相手に行動を「思い留まらせる」。つまり抑止だが、日本の抑止力は大丈夫だろうか？紅海周辺を見ると、事が勃発して以降、フーシは日本の輸送船を襲撃した。最近では、米国の、それも米海軍の艦船にまで攻撃を仕掛けている。背後にイランの支援を指摘する向きが多い。米軍の艦船への攻撃は初めてではないが、今回は、米政府が地中海の東側に空母まで派遣している中でも攻撃を躊躇しないという話だ。

米国シンクタンク研究員で、米海軍 OB の Jerry Hendrix 氏は Wall Street Journal への投稿の中で「米国の抑止力の背景には米軍による存在の優位性の維持があるが、この優位性が縮んできている」と指摘する。「米国の艦船数は、レーガン政権時の 1987 年の 594 隻から足元では 291 隻にまで減少している。一方、中国海軍の艦船数は急速に増えて 340 隻となっている。今後もさらに増え、2025 年には 400 隻に達する見込みであり、米軍が持つ存在の優位性が疑わしくなる」とする。これと並んで大事なこととして、無形の要素、つまり諸外国から「自国の国益防衛の為なら、米国はなんどきでも出動する」というパーセプションを持たれていることが有るとする。この点を、ロシア、さらには中国、北朝鮮がどう評価しているのか？になると、ことは日本自身の安全保障に及んでくる。

日本国内での敵地攻撃力議論などを見ると、日本の既往の法令解釈、国内での常識や感覚に基づいて行われているようにしか見えない。しかし、攻撃するか否かを判断するのは「相手」だ。相手が「攻撃をしかけたら、自らがひどい目に遭うから止めよう」と思わなければ抑止はされない。ハマスに抑止効果が働き、攻撃を留まっていれば、悲惨な被害は発生しなかった。一の抑止策は万の事後対策に勝る。

相手が「第一撃をした後も、日本が自分たちを攻めてこない」と思えば、ブレーキをかけないのではないか？「日米安保条約があるから大丈夫」と言うだけでは、米政府が、日本防衛のためにコストを惜しまないことについて米国民の支持が持続するだろうか？日本が自らの防衛に万策を尽くすことが前提ではないか。悲惨な現実を目の当たりにして「自分事は何か」を反芻することが安全保障の第一歩だ。

注) 共通する趣旨は、12 月 27 日 web 産経新聞にも、私の寄稿として掲載されています。

<https://www.sankei.com/article/20231227-3YLWY24LLVJZBJEE60CIKGBRE4/>